

II 森林体験フィールド調査

II-2 クルミ遊歩道

① 地区の概要

道光近くを起点とするルートで奥只見レクリエーション都市公園根小屋 花と緑と雪の里(以後奥レク公園と呼ぶ)を結ぶルートである。クルミ遊歩道は主に山の峰伝いにある遊歩道で名前の由来であるクルミ川は山の谷あいを流れる川である。初夏のクルミ川では、ホタルの幻想的な光景が見られるという。

遊歩道の案内看板がある道光側の入り口から第1展望台、そこから下って第2展望台、更に下って奥レク公園の境界に展望台の標識がある。標高の低いところから第1、第2ではなく高い方から、第1、第2と名前が付いているのは珍しい。

クルミ遊歩道は下の展望台近くを除けば、あまり植林された様子もなく、植物(雑木)が自生している。第1、第2展望台付近は赤土系、高木もなく、各展望台からの見晴らしがとても良い。

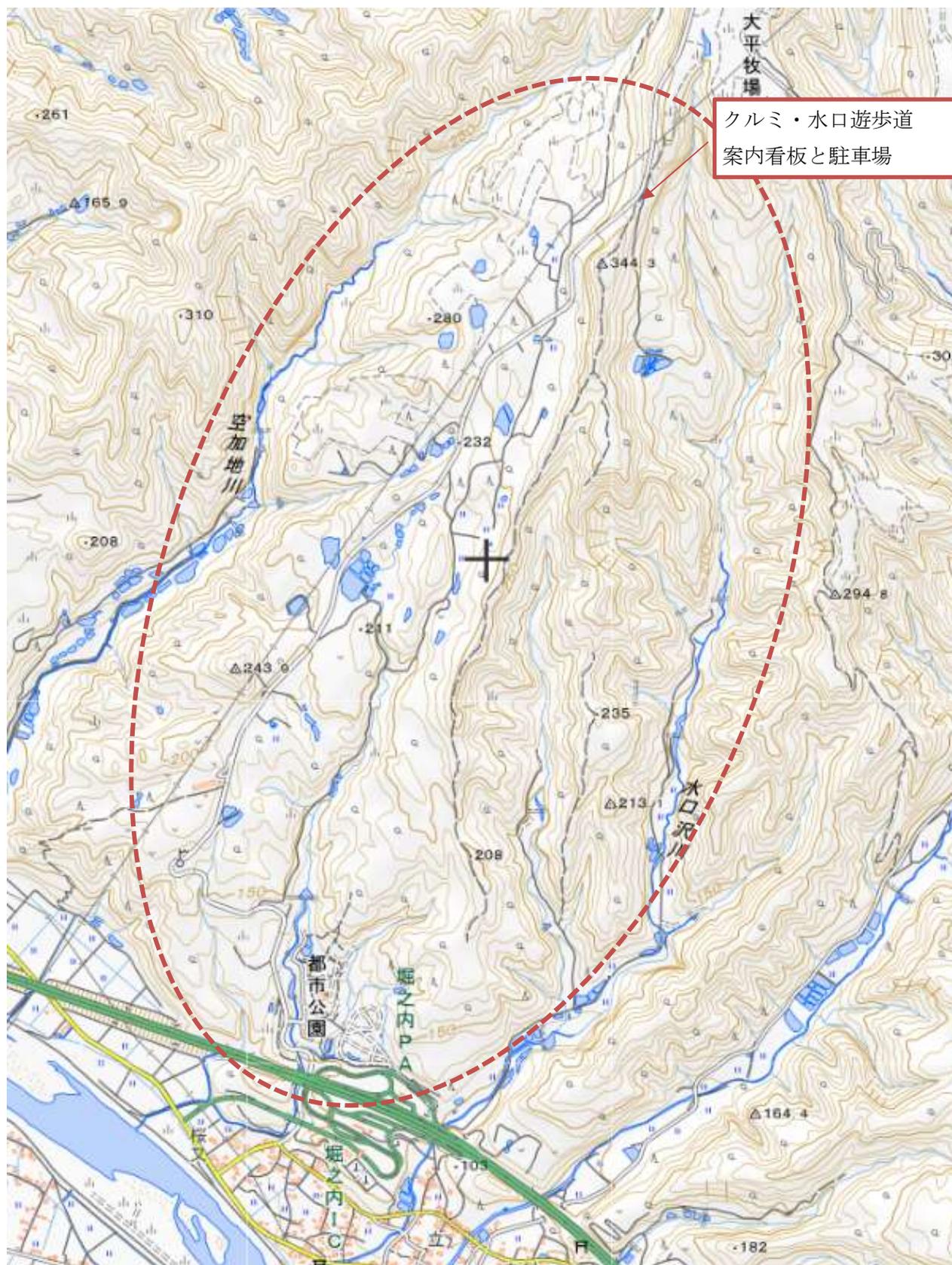
道光側の登山口には車が4~5台止められる駐車場がある。一方、下の登山口に位置する奥レク公園は都市公園ということもあり、駐車場は100台以上車の駐車が可能である。

道光側から奥レク公園に向かって下る方が楽である。

② 体験可能内容

主に自然観察に適している。

クルミ遊歩道森林体験フィールド



クルミ・水口遊歩道案内看板



奥レク公園側登り口



所々に木の表示がある(コナラ)



(イワカガミ)